



お子 づお子 できる子

新井小学校たより 2月号

令和2年2月25日

HPアドレス <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/arai-s/>

児童にスキーの楽しさをーA君との思い出からー

校長 宮野 正則

本年度も保護者、そして指導者の皆様のご支援・ご協力をいただき、有意義なスキー教室を実施することができました。感謝申し上げます。

さて、私事になりますが、息子達が通った小学校(上越市、児童数約200名)では、その当時(平成10年度～17年度)全校一斉に池ノ平スキー場でスキー教室を行っていました。

学校備え付けのクロカン用スキーセットがあり、積雪があれば、グラウンドでスキーができる学習環境でした。しかし、1年生の中には初めてスキーをする児童もいました。

そのため、毎年50名以上の保護者がスキー教室に協力員として参加していました。長男が2年生の時、担任の先生から協力依頼があり、初級コースの4名の児童を担当しました。その中に、スキーがあまり得意でなく体格のよいA君がいました。はじめはグレンデの下の方で登降していましたが、子どもたちの要望もあり、スキー操作に慣れた頃からリフトに乗って上にあがることにしました。ところが、A君はスキー操作がうまくできず、転びまくっていました。けがをさせてはいけませんので、A君を抱えながらなんとか斜面を降りてきました。そんなことを繰り返してスキー教室は終了しました。

4年後、長男が6年生の時に再び参加し、偶然にもA君のいるグループを担当することになりました。ところが、A君は2年生の時とは見違えるほど上手になっていました。リフトでいっしょになったとき、「A君、私のこと、覚えている?」「はい、宮野君のお父さんですよ。2年生の時も教えてもらいました。」「ずいぶん上手になったね。よくスキーに行くの?」「いいえ、父も母もスキーをしないので、連れて行ってもらうことはありません。だから年1回のスキー教室がとても楽しみなのです。」A君の堂々とした受け答え、意欲的にスキーに取り組む姿から、この子は大人になってもスキーを続けること、そして、自分の子どもにもスキーの楽しさを伝えることを確信しました。

今年も、全国中学校スキー大会や全国高等学校スキー大会など、全国レベルでのスキー大会において、妙高市の中学生や高校生が大活躍しました。これは、中学校や高等学校での指導体制や練習環境はもちろんですが、小学校からのスキー経験が奏功しているのではないのでしょうか。また、地域の方々のスキーにかける情熱や思いを強く感じています。そうした地域のサポートや応援が“スキー王国妙高”につながっていると考えます。

スキーは自然を克服し、技能上達を体感する喜びがあります。しかし、雪の降る地域でしかできません。スキー学習は、妙高市の小学校に課せられた責務かもしれません。これからも子どもたちにスキーの楽しさやすばらしさを実感させ、生涯スポーツとして取り組んでいく態度を育てていきます。



「教育活動に関するアンケート」集計結果(令和元年12月実施)について

保護者の皆様から「教育活動に関するアンケート」にご協力いただきました。また、児童アンケートも実施しました。それぞれの結果は、以下の通りです。数値は、肯定的な回答の割合を表しています。前期と後期の変化を比較するために、増減を示しました。また、アンケートの自由記述に関する回答等も一部記載しました。

今回の集計結果を今後の教育活動に生かしていきます。特に、「学校が楽しい。」「授業が分かる。」などの項目は、肯定的回答でなかった子どもに目を向けて、しっかりと対応しています。

今後とも、当校の教育活動にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【児童アンケート結果】

No.	項目	前期 (%)	後期 (%)	増減 (ポイント)
1	学校が楽しいですか。	94	92	-2
2	授業が分かりますか。	90	90	0
3	家庭学習をがんばっていますか。	87	84	-3
4	授業中、相手の話をよく聞いて学習していますか。 「聞く力のポイント」を意識して。	89	87	-2
5	授業中、自分の意見を話したり、相手に伝えるように話したりしましたか。「話す力のポイント」を意識して。	84	80	-4
6	友達や先生、学校に来られたお客さん、地域の人に進んで挨拶をしていますか。	88	84	-4
7	友達に、よくないことは「よくない」と言えましたか。	75	75	0
8	相手や周りの気持ちを考え、力を合わせて活動していますか。	91	92	+1
9	つらいことや苦しいことも、最後までやり通しましたか。 (相談したり、友達と協力したりして)	90	92	+2
10	学校や家で、正しい言葉遣いで話をしていますか。	82	80	-2
11	使ったボールや遊び道具など、後片付けをきちんとしていますか。	97	97	0
12	自分の行動を振り返り次のめあてをもちましたか。	86	84	-2
13	運動やスポーツなど、身体を動かすことは好きですか。	89	86	-3
14	体育の授業は楽しいですか。	93	86	-7
15	「早寝・早起き」をしていますか。	80	75	-5
16	朝ご飯を食べていますか。	95	95	0
17	新井・妙高のよさを知っていますか。	79	82	+3
18	将来に夢や目標がありますか。	88	87	-1

【保護者アンケート結果】

No.	項目	前期 (%)	後期 (%)	増減 (ポイント)
1	お子さんは、学校生活を楽しいと感じていますか。	95	95	0
2	お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと言っていますか。	87	87	0
3	お子さんは、授業の内容をほぼ理解していると思われますか。	78	81	+3
4	お子さんは、自分の意見や考えを話せるようになっていきますか。	76	79	+3
5	お子さんは、正しい言葉遣いをしていますか。	59	61	+2
6	お子さんは、特定の人だけでなく、男女を問わず誰とも仲良く過ごそうとしていますか。	86	88	+2
7	お子さんは、いやなことや苦しいことがあったときに、誰かに相談したり友達と協力したりして、自分から解決しようとしていますか。	75	80	+5
8	お子さんは、学校での出来事をご家庭で話していますか。	83	85	+2
9	お子さんは、家庭学習に取り組んでいますか。	76	73	-3

10	お子さんは、家でよく読書をしていますか。	33	37	+4
11	お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣が身に付いていますか。	81	79	-2
12	お子さんは、家庭で決めたテレビやゲームの視聴時間のルールを守っていますか。	61	60	-1
13	お子さんは、家庭や地域で、進んであいさつをしていますか。	68	67	-1
14	お子さんは、家庭や地域で、社会のルールを守って生活していますか。	95	94	-1
15	お子さんと、将来について話し合っていますか。	53	51	-2
16	保護者の皆様は、お子さんの学習や生活の様子を見て、ほめていますか。	83	84	+1
17	学校・学年だより、面談・相談、連絡帳等を通して、学習や学校行事でのお子さんの様子を知ることができますか。	94	96	+2
18	学校は、お子さんや保護者の悩み事等を相談しやすい環境を整えていると思いますか。	94	96	+2
19	教職員は、児童に適切に対応していますか。(教える、褒める、叱るなど)	97	97	0
20	教職員は、保護者に対して丁寧に接していますか。	99	99	0

【アンケート項目の結果から】

1 「あいさつ・言葉遣い」の視点から

「あいさつ・正しい言葉遣い」に関する児童の肯定的評価は80%を上回っていますが、保護者の評価はいずれも70%を下回り、定着しているとは言い難いのが実際のところ。時と場に応じた適切なあいさつや正しい言葉遣いについては、強調週間を設けて取り組んできました。重点的に取り組んだり学習や生活全体を通して繰り返し取り組んだりしていく必要があると考えます。また、体験や行事と関連付けた道徳教育や同和学習を実施する等、いじめの未然防止や人権意識の向上に努めてきました。

言葉遣いは、人間関係を良好にするだけでなく、心を豊かにします。学校外での活動や遊びから派生したトラブルが増え、関係機関との連携が必要なことも事実です。学校では、これからも根気強く指導を継続していきます。ご家庭でも、お子さんにあった声掛けをお願いします。



2 「〇〇が楽しい」「自分から〇〇」の視点から

「学校が楽しい」と肯定的評価をする児童92%・保護者95%、「相手や周りの気持ちを考え、協力して活動できた」児童92%、「いやなことや苦しいことも相談したり友達と協力したりして最後までやり通した」児童92%と児童の肯定的評価は高く、仲間と支え合いながら苦しいことも乗り越えようとする児童が増えています。



「お子さんは、嫌なことや苦しいことがあったときに、誰かに相談したり友達と協力したりして、自分から解決しようとしていますか」の肯定的評価が80%と前期より大きく向上しました。友達と協働しながら課題を解決する学習活動や互いの考えを伝え合う活動を積極的に行うことにより、自分の思いや考えを相手に伝えようとする意欲や態度が育ってきています。学ぶ場面において、この気持ちはとても大切だと考えます。このことを生かし、筋道を立てて話したり書いたりする力を育てていきます。家庭学習の意欲は向上しつつありますが、内容面での向上が望まれます。工夫している学習内容を児童に紹介する等、今後も質の向上を目指した働き掛けを行い、より充実した内容になるように取り組んでいきます。

また、「運動嫌い」の児童の割合に対して「体育の授業は楽しい」と肯定的に捉えている児童が多いことは、体育授業担当を中心に児童の実態に即した授業づくりを進めてきた成果だと考えます。特定の運動や技能に対する「できる・できない」ばかりにとらわれず、小さな成長や成功体験を認め、意欲や自信を高めています。他の教科においても同様に、今後も学ぶ過程を大切にしていきます。

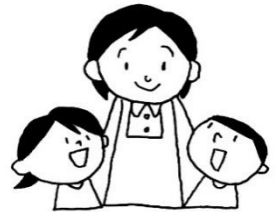
3 生活習慣や家庭のメディアルールについて

アンケートNo.11「お子さんは、早寝・早起き・朝ご飯の生活習慣が身に付いていますか」では、昨年度の肯定的評価 73%より向上したものの、7月より下がりました。No.12「お子さんは、家庭で決めたテレビやゲームの視聴時間のルールを守っていますか」では、昨年度の肯定的評価 56%より向上したものの、7月同様学年差・個人差も大きいです。焦点化した取組と日常的な取組を組み合わせ、学校と家庭が連携して取り組んでいくことが必要不可欠です。月1回の「子育て広場」で、同じ悩みや思いをもつ保護者同士でつながり、解決のきっかけを掴んだ事例もあります。また、過去2年間の様子から、2学期以降肯定的評価が下がる傾向にあるので、長期休みの啓発を重視した取組を検討していく必要があると考えます。

【自由記述から（一部）】

1 学校生活・家庭との連携について

- ・2学期になり、学校での出来事を楽しそうに話して教えてくれるようになり、本人なりに学校を楽しんでいるようで良かったです。学習面ではみんなに追いつくのに苦労してはいますが、連絡帳でどこが遅れ気味か細かく教えていただけるので家でも対応しやすく、何よりも先生ができたことを認めてくれることが本人のやる気になっているので、本人も前向きに学習をしてくれています。ありがとうございます。給食ではご迷惑をおかけしていますが、先生方の対応に感謝しかありません。本当にありがとうございます。（1年）
- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。もうすでに「勉強キライ！」と言っている娘ですが、大好きなお友達や先生のいる学校が楽しくて仕方がないようです。また、先日の個別懇談で先生とお話しさせていただけた事で、私も娘に対して少し冷静になれたというか、ありのままの娘を受け入れることができるようになってきました。でもまだまだつい怒ってしまう場面も多いのですが、意識してほめたり甘えさせてあげたりということができるようになってきました。私にとって本当に良い機会になりました。ありがとうございました。（1年）
- ・周りからワテンポ遅れることが多い子ですが、先生や支援員さんのお陰で楽しく過ごせているようです。親目線ではついつい注意しがちな事も、プラス思考で伸ばし方を教えてください。先生にお会いすると子どものエピソードをたくさん教えてくださいるので、家庭では見せない一面も知ることができてありがたいです。いつも細やかに見てくださり、ありがとうございます。（2年）
- ・クラスのお友達とトラブルがあった時に、電話で担任の先生に相談させていただいたことがあります。丁寧に話を聞いてくださり、次の日にすぐに対応してもらい、子どもも「仲直りした」と喜んで帰ってきました。子どもから先生に話してほしいと言われたわけではないので相談するべきか悩みましたが、相談して良かったと思います。ありがとうございました。（4年）

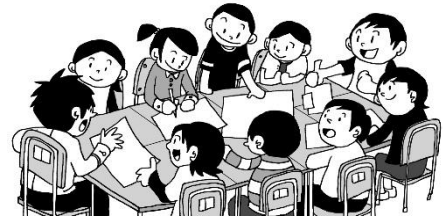


2 学習活動・内容・指導について

- ・5年生になり、活動の幅も広がり、成長を感じます。毎日日直のスピーチがあるそうで、家では話題にできなかったニュースなどを話し、考えるようです。思っているよりしっかりした意見をもつ子や息子の意見にびっくりすることも多いです。時々話してくれるので楽しみです。3学期も楽しく過ごせるようよろしくお願いします。（5年）
- ・先生がその子に対し、他の子がたまたま見た一場面を聞いて、それを悪いことと伝えるのはいかなものでしょう。その場面の前後のことを知らず、たまたま聞いた、たまたま見た一場面で判断して欲しくありません。他はよく見ていただいていると思います。（5年）
 - そのときのお子さんの態度や言動、人間関係など総合的に判断して申し上げたのですが、詳細まで正しく伝えられず申し訳ありませんでした。しっかりお伝えしたいと思います。

- ・子どもたちの自主性を大切に、1つ1つ丁寧に物事を進めていただいていることが子どもの話を聞いてよく分かります。お忙しい中、熱心に指導して下さる6年生担任始め先生方に感謝しています。自分たちで考え、解決する力を身に付ける事はとても大事だと思います。「生きる力」を身に付けられるような経験、話し合いをぜひ小学生から積極的に取り入れてほしいと思います。(6年)

- 6年生では、「感動」をテーマに、子どもたちが主体的に行事や活動に関わることに重きを置いてきました。当然のことながら、話し合いには時間がかかりますが、活動後の振り返りからも一人一人の確かな成長を感じることができます。今後、中学校進学を控え、さらに、さまざまな事に対して、自分で考え、判断することが求められていきます。小学校生活での経験がその一助になればと考えています。



- ・お世話になっています。いつもありがとうございます。先日「思春期の心と体に向き合う」という講演会に参加させていただき、その中で講師の方がこうした話を学校の授業の中に取り入れてほしいとおっしゃっていてその通りだと思いました。子どもが自分の心と体について見つめることはすごく大事で、またそうした子どもの不安や戸惑いを大人はしっかりと受け止めなければいけないと考えさせられました。とてもよいお話だったので、子どもたちにも多くの方に今回のようなお話を聞いていただきたいと思いました。また、人は外見や容姿について運動ができない、勉強ができないことをつい口にしてしまうことがあるかもしれませんが、言われたことで相手が傷付いてしまうことがあることを道徳の時間などで改めて教えていただきたいと思います。(6年)



- ご意見ありがとうございます。「思春期」について、学校の授業の中では、保健の学習で扱い、その中で、不安や悩みに対する対処法についても学習します。しかし、子育てをしていく上で、保護者のみなさんも、子どもの不安や悩みに寄り添い、付き合っていく上で、学習する機会を設けることはとても大切だと感じます。外見や容姿に関わる相手の気持ちを考えない言動についても、繰り返し繰り返し考え、実践的な態度を育てていけるよう指導しているところです。

あいさつについて

- ・いつもお世話になりありがとうございます。このようなアンケートがあると、今の我が子(親)の課題がはっきり見える良い機会だな～と実感します。3年生になると恥ずかしさもあるのか、家の中でも外でもあいさつがなかなかできず、親に催促されてやっとな…という感じです。どうしたら良いものか…毎日頭を悩ませています。(3年)

- ご家庭でのお子さんへの声掛けありがとうございます。学校でも、あいさつに関しては繰り返し取り組んでいます。個人差もあり、「これだ！」という方法はなかなか見当たりません。しかし、継続することであいさつは徐々によくなってきています。今後も、ご家庭や地域の中で、気持ちのよいあいさつを交わし合ったり根気よくあいさつを促したりしていただくとありがたいです。学校でも引き続き、気持ちのよいあいさつを呼びかけていきます。



宿題の丸付けについて


- ・宿題の丸付けですが、はっきりと答えの決まっている計算は良いのですが、解釈の分かれるものや字の書き方などの時は迷ってしまいます。自分の習った時とは違っていることもあるので、「こうじゃないかな」と思っても、子どもに「学校でこうだった」と言い張られると訂正できません。判断できないと取り敢えず丸をつけて先生のお任せしてしまうのですが大丈夫でしょうか。まだ1年なのでそうなのですが、今後がちょっと心配です。(1年)

- 家庭学習の様子を見てくださり、丸付けもしていただいていること、たいへんありがとうございます。判断に迷うような場合は、学校で確認しますので、任せてください。今後もよろしくお願いします。

- ・いつもお世話になっています。宿題の丸付けにて特に算数のプリントの答え合わせをするに当たり、答えのプリントがほしいと思うことがあります。だんだんと難しくなり、こちらが答えが分からないものも出てきました。(3年)

- 宿題等の家庭学習にご家庭で熱心に向き合ってください、心より感謝申し上げます。算数など「答え」のプリントも用意できるように努力します。しかし、すべての宿題で答えをお届けできるわけではないので、丸付けできない問題は学校にお任せください。

長期休業中の課題について


- ・先生によって教育方針や指導の仕方が違うことで、子どもが戸惑うことがありました。情報の共有をお願いしたいです。提出物が出されていないにもかかわらず、本人にも連絡帳等でもお知らせがなく、2ヵ月近く経ってから提出物を家で見つけるまで気付きませんでした。その提出物は全員提出の夏休みの宿題の一つです。出さずにいて良かったのでしょうか。その程度ならば宿題にしないでもらいたいです。(2年)
 - ご意見ありがとうございます。職員間の情報共有が十分でないところがあり、ご心配をおかけし申し訳ありませんでした。今後は、情報共有を密にしながら指導にあたるように努めます。提出物については、提出されていないことをお子さんへのみ伝えることが多かったことを反省します。今後必要な際には、ご家庭にも連絡を入れ、協力をお願いするようにします。
- 
- ・はねうま学級に在籍しています。入学時の説明では、はねうまも交流学級と学習内容は同じだと聞いていたように思います。夏休みの宿題で、交流学級でもらっているプリント？がはねうまの子には難しいからと配られない。はねうま用の基本プリントが配られる。基本的な問題をしっかりこなせるように。と、それも充分分かりますが。同じ宿題を出してもらえないことに少しもやもやしていました。その問題をやれる子、やれない子とそれぞれかとは思いますが、学校側から「あなたはこの程度でいい」と言われているようで。やるか、やらなかは家で相談してもらおうことにして…。同じ問題を配っていただきたいと思いました。(6年)
 - ご意見ありがとうございます。夏休みの交流学級のプリントも基礎基本であり、難易度に差があるわけではありません。課題量の調整のために、はねうまプリントのみを課題とさせていただきました。しかし、より多くの問題に取り組みたいというお子さんの意欲に応えるためには、両方の課題を出し、取り組むかどうかはご家庭で相談していただくべきでした。今後はそのように対応します。

3 行事等について

運動会

- ・運動会の協議前・競技中の放送が聞こえづらい。50m・100m走など組も分かりにくい。(3年)
- 競技中の放送については、市から借用したスピーカーも使って対応していますが、他団体に貸し出されている場合もあり、毎年必ず準備できるとは限りません。これからもできる範囲の中で対応していきますのでご理解ください。

マラソン大会

- ・マラソン大会…毎年新井高校のマラソン練習と時間が重なって危ない。時間をずらせるよう配慮してほしい。スタートしてグラウンドから出て行く時とラスト(グラウンドに入っていく際)、沿道で応援されている方がかなり前に出てきて危ない。コーンでも置いて規制してほしい。(5年)
 - マラソン大会については、事前に新井高校に依頼しておりましたが、高校内での連絡が不十分だったようです。(後で謝罪の電話が来ました)。応援の仕方については、事前に便り等をお願いしたり、可能であればコーンを置いたりして環境を整えたいと思います。
- 

若竹フェスティバル

- ・若竹フェスティバル…場所取りの方で結構席が埋まっていたり立ち見はダメと言われたが自分の子の発表が近づいてきているのに座る席もなく困った。端の方、立ち見スペースつくってもいいのでは？(5年)
- 若竹フェスティバルの保護者席につきましては、安全管理上原則として立ち見はできないと文化ホールから伝えられております。限られた席を有効に使うため、PTA総務委員の方から案内・誘導をお手伝いいただいておりますが、後は保護者の皆様からお互い譲り合っていただくことしかないので現状

です。ご自分のお子さんの発表が終わりましたら、席を譲っていただくよう呼びかけるなど、工夫しますので、来年度もご理解とご協力をお願いいたします。

行事時のお弁当

- ・様々な家族形態や勤務体系がある中で、運動会・若竹フェスティバル等ふれあいランチタイムに疑問があります。行事でお弁当を持参させて、子どもたちはクラス単位で食べる方がよい場合もあるのでは？と思います。（1年）
- 各家庭の状況は多様化しています。お弁当を家庭ごとに食べられない場合も想定し、対応しているところです。行事のランチタイムをどうするかも含めて、検討していきます。貴重なご意見、ありがとうございました。

4 課外活動について

- ・部活動の在り方についてですが、先生方の働き方等いろいろ大変な面があるのは分かりますが、マーチングの全てを部活動の時間にあててしまうと11月～2月それに4月と5月、1年の半分はほとんど活動ができなくなっています。部活動を楽しみにしている子どもたちもいることを忘れないでほしいです。全ての活動時間が無理でもせめて1か月に2回くらいは本来の部活動をやることはできないのでしょうか。（4年）
- ・いつもありがとうございます。先日吹奏楽部の保護者会に参加しました。他の子たちが、学校が、先生たちが、保護者が、どんなふうを考えているのか分かってよかったです。子どもたちが楽しく活動できるように、よろしく願いいたします。（5年）
- ・担任の先生には相談事に丁寧に対応していただき本当に感謝しています。ありがとうございました。吹奏楽部に所属していますが、是非これからの活動は子どもたちが素直にがんばれた！と思えるようにしていただければと思います。（5年）
- ・担任の先生には、いろんな場面で相談をさせていただきその都度適切な対応をしていただき感謝しています。小学校生活最後の年に多くの行事を経験していく中で子どもの成長が見られるのも先生方のアドバイスなどのお陰だと思っています。部活動については、1年のほぼ半分がマーチング活動になってしまいました。先生方の都合等もあるかとは思いますが、部活動を楽しみにしている子どももいることを忘れないでほしいです。せめて1か月の内2回くらいは本来の部活動ができないのでしょうか。（6年）
- 12月の初めに、吹奏楽部の保護者会を開かせていただきました。その中で保護者のお考えや部活動に対する思いを伺うことができ、大変有意義な会となりました。また、部活動中は表に出さなかった個々のお子さんの様々な思いも、保護者の話を通して知ることができました。今後は週2日の練習に合わせた効率の良い練習体制に改善し、子どもたちが「楽器が吹けるようになった」「一生懸命演奏できた」「演奏して楽しかった」とより充実感をもてるよう工夫していきます。
また、楽器を演奏するためには、練習を継続して行うことが重要であることが明らかとなりました。このことを踏まえ、マーチングを含めた課外活動全体の計画を立てていきます。



5 その他

- ・学校から配付される便り「チャレンジ」の来週の予定欄の漢字に、ルビを振って欲しいです。子どもが自ら学習用具を準備できるようになって欲しいため。（1年）
- 子どもたちが自主的に学習準備ができることは、とてもよいことです。学年だよりの予定欄が参考になるように、必要だと思われる部分にルビを振るようにします。
- ・子どもを迎えに行った時に、無愛想な先生がいるのが残念です。（4年）
- 大変失礼いたしました。今後のためにも状況を確認し、指導いたします。ご不快な対応がありましたら、遠慮なく学校までお知らせください。

最高の仲間と最高のステージを！マーチング移杖式



2月4日（火）、6年生にとって最後の演奏の舞台となる、マーチング移杖式が行われました。この日を楽しみにしていた反面、「移杖したくない」「まだ続けたい」と、本番を迎えたくないという思いをもつ子もいました。それほど、マーチングにかける子どもたちの気持ちは強いものでした。本番では、自分が満足できる演奏を目指して、一人一人が自分の全力を出し切りました。多くの子どもたちが、「たいよう学年が一つになる」瞬間を再び味わうことができたようです。

一方、マーチングを引き継ぐ喜びと「これから頑張るぞ！」というやる気いっぱいの5年生。一人一人が自分の役割を果たすこと、そして自分だけでなく友達もできるように力を尽くすこと、それが、にじいる学年を目指すマーチングでした。「心を一つに」を合い言葉に練習に励み、移杖式が終わった後の子どもたちの自信に満ちた目は、とてもまぶしく、頼もしく見えました。

当日は多くの方にお越しいただき、子どもたちの演奏・演技に温かい拍手をいただきました。ありがとうございました。



令和2年度4月・5月の主な学校行事予定

【4月】

- 6日（月） 6年登校：新学期準備
- 7日（火） 1学期開始 始業式 入学式、PTA専門部会（PTA役員）
- 15日（水） 地域児童会 集団下校
- 16日（木） 全国学力学習状況調査（6年）
- 22日（水） 妙高市教職員全員研修のため4限給食後下校
- 24日（金） 学習参観 PTA総会 学年学級PTA PTA歓送迎会
- 27日（月） 家庭訪問（4限給食後下校）
- 28日（火） 家庭訪問（4限給食後下校）
- 30日（木） 家庭訪問（4限給食後下校）

【5月】

- 1日（金） 家庭訪問（風祭りのため3限後下校）
- 7日（火） 課外活動開始
- 16日（土） 春のPTA奉仕作業
- 23日（土） 運動会
- 24日（日） 運動会予備日①
- 25日（月） 運動会の振替休日
- 30日（土） 運動会予備日②
- 31日（日） 運動会予備日③

